


履歴書

2023 年 03月 30日

志望分野	Webエンジニア			
フリガナ	イ ジュンヨン	英語表記		LEE JUN YONG
氏 名				
李 俊鎔				
生年月日		性別		
1999 年 03 月 03 日生 (満 24 歳)		男		
フリガナ カンコク ギョンギド ヨンインシ スジグ			電話 (+82) 10-7371-6400	
現住所 〒16830 韓国 京畿道 ヨンイン市 水枝区 スブン路90			E-mail aapp76sun@gmail.com	

西暦	月	学歴・職歴
		学 歴
2018 年	02 月	豊徳高等学校 卒業
2018 年	03 月	新旧専門大学 情報メディア学部 ソフトウェア学科 入学
2019 年	02 月	新旧専門大学 情報メディア学部 ソフトウェア学科 休学
		2年次に兵役のため2年間休学
2019 年	03 月	第28師団第273砲兵大隊 入隊
2020 年	10 月	第28師団第273砲兵大隊 満期除隊
2021 年	03 月	新旧専門大学 情報メディア学部 ソフトウェア学科 復学
2023 年	02 月	新旧専門大学 情報メディア学部 ソフトウェア学科 卒業
		職 歴 (アルバイト等)
2018 年	07 月	エックスゾーン・ネットカフェ ズクゾン店 アルバイト入社
2019 年	01 月	エックスゾーン・ネットカフェ ズクゾン店 アルバイト退社
2021 年	08 月	CUコンビニエンスストア ドンチョンユータワー店 アルバイト入社
2022 年	12 月	CUコンビニエンスストア ドンチョンユータワー店 アルバイト退社
		以上

年	月	免許・資格
2020 年	12月	普通自動車第二種運転免許

言語	資格名	点数・級
日本語	JLPT	173 点/ N1

<p>学生時代に最も打ち込んだこと</p> <p>私が大学時代に頑張ったことはプログラミングです。</p> <p>入学した当時、プログラミング作品展示会で先輩たちの作品を見て、Web 開発に興味を持ち始めました。その後、Web エンジニアを目指したいという思いが募り、卒業までに 2 つ以上のプロジェクトを必ず完成すると決意し目標に向けて全力投入しました。しかし、大学の授業は、プロジェクトのみに集中できる環境ではなかったため、二つを両立させることは非常に苦悩でした。そこで、私は 3 つの方法で困難を乗り越えることができました。</p> <p>一つ目は、大学の授業とプロジェクト作成、この二つのバランスをうまく取ることでした。計画表を立て、一つばかりに集中しすぎないように管理していきました。</p> <p>二つ目は、授業で学んだ内容を直ちにプロジェクトに取り組みました。復習と同時にプロジェクトが進められて、効率的に時間を費やすことができました。</p> <p>最後に、次の学期に学ぶプログラミング言語を使って、事前に予習しました。予習を通して周りより一歩先に内容が熟知でき、プロジェクトの方向性を合わせるにも非常に役立ちました。</p> <p>結果として、平均 GPA2.8 の学部で 3.7 を維持しながら、3 つのプロジェクトを作り上げることができました。</p>
--

<p>課外活動</p> <p>学業以外で一番熱心に取り組んだことは同好会活動です。</p> <p>友達と一緒にゲーム同好会を立ち上げた経験があります。初期のメンバーは互いに知っている友達同士で構成されていたため、特に衝突はありませんでした。ところが、新規メンバーが入ってくる度に、新しい人間関係が形成され、意見が多々ぶつかるようになりました。そのため、メンバー間で葛藤が起きた場合は、リーダーとして対処法と予防策を考え、行動に移さなければならないことに気が付き、3 つの行動を取りました。</p> <p>一つ目は、口論が発生した場合、物事が大きくならないように当事者らをなるべく分離させ、一旦落ち着かせました。その後、それぞれ自分が悪かったと思う部分について客観的に話させ、最後は話し合いを通して和解するという風にしてきました。</p> <p>二つ目は、それ以外に疎遠しないように、ゲーム内の協同コンテンツを通して関係が回復するようにサポートしました。</p> <p>最後は、新しく入ったメンバーが同好会にうまく溶け込めるように、頻繁にイベントを開催し、お互いが親くなれる環境作りに力を注ぎました。</p> <p>この過程で調停能力を育てることができ、同好会の規模を 5 人から 20 人に拡大させることができ、私としても同好会を通して貢献し自分自身成長させていただいた貴重な期間でした。</p>

<p>性格の長所・短所</p> <p>私の長所は親しみやすく、誰でも気楽に話しかけられやすい部分です。</p> <p>約 6 ヶ月前、ソウルで道に迷っている日本人観光客に遭遇したことがあります。私はさり気なく彼に声をかけ、道を案内しました。その後、彼から他に行けそうな観光地があるかと聞かれたため、ついでにガイド役を買って出ました。その過程で私たちは色々会話を交わし、すぐ親しい仲になり、その関係は現在も続いています。この親和性の高さを活用し、入社後も同僚たちと交わって業務に取り組んでいくようにします。</p> <p>短所は、親しい間柄の人に思ったことをそのまま言葉に出してしまう時があるという部分です。</p> <p>高校時代、ボウリングサークルの友達にいたずらのつもりで「下手すぎじゃない？」と言ったことがありました。しかし、悪気なく言った一言は喧嘩にまでなってしまいました。それから、親しい仲だからといって、相手の立場を考えなく行動してしまった自分に深く反省させられました。それをきっかけに、話すとき必ずもう一度考える習慣を身につけ、親しい関係の人ほど、より礼儀を守ろうと心がけています。日本でも「親しき仲にも礼儀あり」という言葉があるように、その言葉が本当に大事だとつくづく感じました。</p>
--

自己PR

私の強みは、どんな状況でも問題に立ち向かい解決していく力です。

卒業展示会の参加を目指してチームプロジェクトに取り組みました。しかし、準備の段階から、チームメンバーの知識不足と自信の欠如が問題となり、プロジェクトチームが解散されそうな危機に直面しました。当時私はリーダーを務めていたため、この危機を乗り越えるべく、3つの行動を取りました。

まずは、メンバー一人一人の強みを把握し、役割分担を徹底しました。また、作業内容をお互いにしっかり共有することにしました。

第二に、専攻知識が乏しいメンバーのために、週末勉強会やオンライン講座の場を設け、個人の力量を育てられる環境を作りました。

最後に、毎週目標を決め、その目標を達成することでチームメンバーたちが達成感を感じられ、それを味わい、自信を持ってもらえるように励ます役割をしました。

結果として、出展した約 20 グループの中で、私たちのチームが 3 位を取ることができました。

このように、入社後も、どんなに困難な課題があっても、諦めずに問題解決に打ち込み目標をクリアすることで貴社に貢献します。

志望動機

貴社を志望した理由は、最先端の技術を取り入れクリエイティブな作品を作ること、エンジニアとして無限に成長していけると感じたからです。

貴社の説明会を聞いて、以下のような点に強く魅力を感じました。

一つ目は、プロジェクトの多様性より、様々な業界を知ることができることです。今後、開発者として一段と視野が広がる機会があると感じました。

二つ目は、高い技術力を持つエンジニアが多く、新人も様々なプロジェクトに参加できることです。それにより、自分の目指すフルスタックエンジニアの道により近づけると確信したためです。

最後は、貴社の理念である「新しさに挑戦するラボ」に共感し、自分もチームと共に挑戦し成長したいと思いました。

私は学生時代から多くの Web 開発に取り組み、フロントエンド・バックエンド両方の領域で経験を積み重ねてきました。現在も自分自身の専門性を高めるために日々努力しており、最近では AI を利用した音声認識 Web 開発に挑戦しています。入社後も、主体的な学習を通して技術力を向上し、世界にインパクトを与えるような仕事に携わりたいと思い貴社に志望しました。